National

保管用

保証書付

1穴キッチン混合栓
取扱説明書(お客様用)

機種名	一般地用製品番号
アトランタ	SU31SK2S
	グロージャパン製品番号
	31749(31755)
	日本水道協会認証番号
	C−85

工事店さまへのお願い

この取扱説明書は、貴店名ならびに取付日を保証書にご記入の上、お客様にお渡しください。

- □ お買い上げありがとうございました。
- □ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- □ この取扱説明書は保証書付ですのでお読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- □ この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- □ 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- □ 転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 …… 1
特長 …… 2
各部の名称 …… 2
ご使用前に …… 2
ご使用方法 …… 3
ご使用上の注意 …… 3
寒冷地にて使用する場合 …… 4
お手入れの方法 …… 4
故障かな？と思ったら (修理を依頼される前に) …… 5
保証とアフターサービス (よくお読みください) …… 5
保証書 …… 6
お客様相談窓口のご案内 …… 7

安全に関するご注意

■ ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
■ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
■ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
■ 表示内容を無視し、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠注意	この表示は「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し、説明しています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解や修理・改造の禁止）が描かれています。

❗ 記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な行為の強制）が描かれています。

⚠注意

高温のお湯を出しているときに水栓に直接肌を触れないでください。

※やけどするおそれがあります。

高温のお湯を使用後はしばらく水を流してください。

※次に使用するとき水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。

閉栓は湯側から。

※次に使用するとき水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。

開栓は水側から。

※湯側から開栓すると高温の湯が出てやけどするおそれがあります。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

※けがをしたり、故障・破損のおそれがあります。

水栓の操作（特に止水）はゆっくりと行ってください。

※急閉止すると強い水撃（ウォーターハンマー）を発生し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。

※凍結破損の漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

他所との同時使用時の温度変化に注意してください。

※他所との同時使用により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇しやけどするおそれがあります。

水栓に上部から無理な力を加えたり、上から物を落としたりしないでください。

※破損し、けがをしたり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

配管パイプや止水栓に収納物を強く当てないでください。

※破損し、けがをしたり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

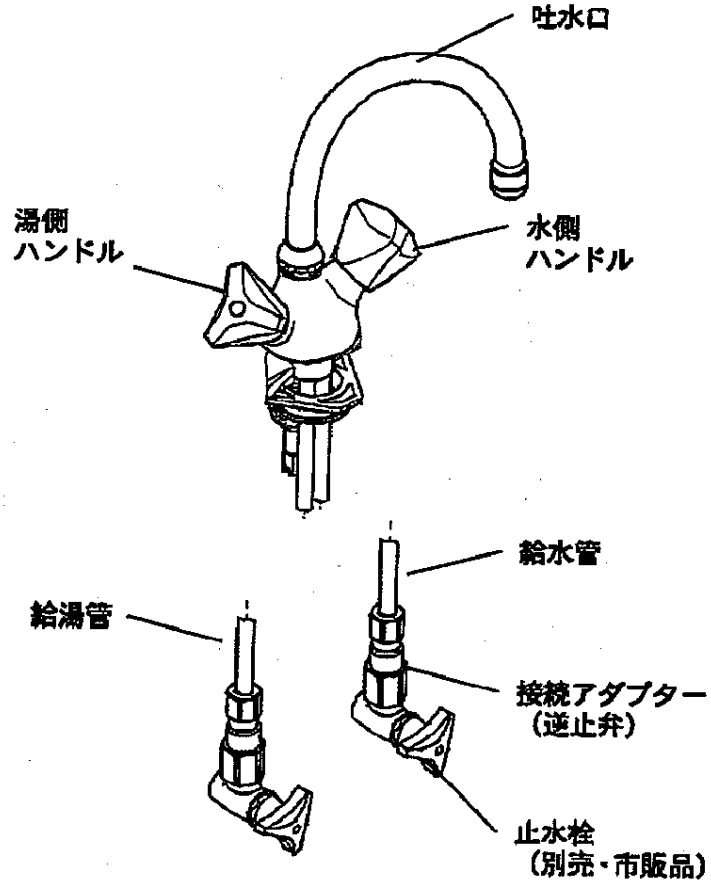
年に一度は、配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。

※部品の劣化・磨耗による漏水が発見できず、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

特　長

●バルブ機構が水栓本体と別のカートリッジ方式となっている為、バルブの開閉機構（スピンドル）が磨耗しても、この部分を交換するだけで本体を交換する必要がありません。

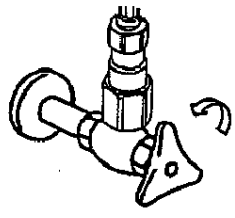
各部の名称



ご使用前に

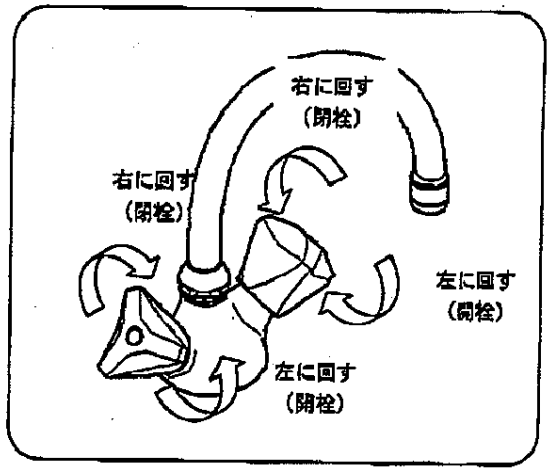
●キャビネットの中に設置されております、止水栓が開いているか確認してください。閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。

※図はアングル型止水栓で記載されておりますが、縦型止水栓についても同様です。



ご使用方法

1．開閉ハンドル



●開閉及び水量調整

本体左右の開閉ハンドル（左側が湯、右側が水）回すことにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

- 左に回して → 吐出が始まります
- 右に回して → 吐出が止まります

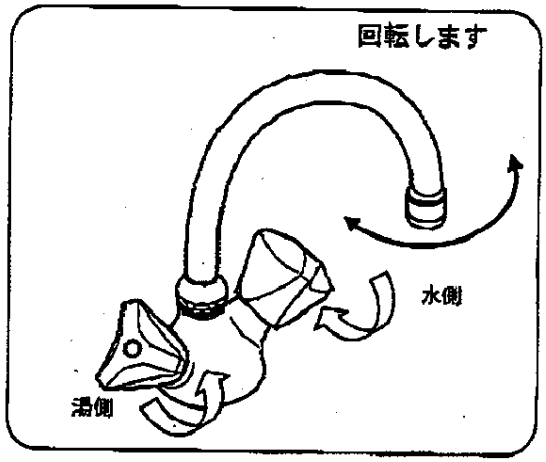
※約２回転半で全開です。

●温度調整

湯側、水側の開閉レバー（ハンドル）を手前回すことのより、湯水の供給量の割合を変化させ吐水温度の調整を行うことができます。

- 左側のハンドルを回して → 湯（高温）になります
- 右側のハンドルを回して → 水（低温）になります

※高温をお使いになるときは、必ず水側のハンドルを回してからゆっくり湯側のハンドルを回して、お好みの温度に調整してください。



2．吐水口

●回転

吐水口は回転します。

- ３６０° 回転

※ストッパーはありませんので、回転を選べません。

ご使用上の注意

●ガス給湯器と合わせてご使用の場合

◎比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温（使用温度＋１０℃）にしてください。

◎能力切替付きの給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。

※吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。

◎給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。

このときは、給湯器の設定温度（能力切替は能力）を少し上げてお試しください。

●ハンドルの操作

◎ハンドル操作は、急激な回転は行わないでください。

※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。

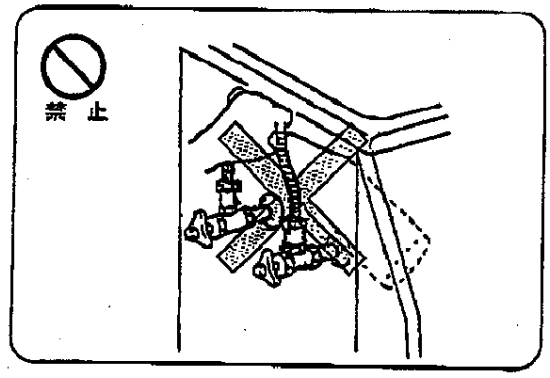
◎混合栓を使用する際は、必ず水から吐水してください。

※熱湯が吐出して熱湯でやけどする恐れがあります。

●キャビネット内に物を出し入れする際の注意

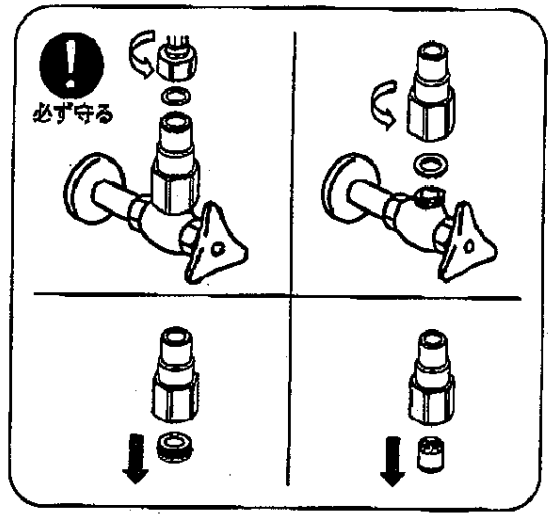
◎キャビネット内に物を出し入れするとき、給水・給湯管およびハンドスプレーホースに引っ掛けるなど、無理な力が加わらないようにしてください。

※給水・給湯管およびハンドスプレーホースの外れや、破損による漏水の原因となります。



寒冷地にて使用する場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。



1．逆止弁の取り外し

①給水・給湯管を接続アダプターから取り外してください。

②止水栓から接続アダプターを取り外してください。

③接続アダプター内部の逆止弁を取り外してください。

※水抜き操作後は必ず元に戻してください。
※逆流防止が別の部分に設置したある場合は、接続アダプター内部の逆止弁を取り外してください。

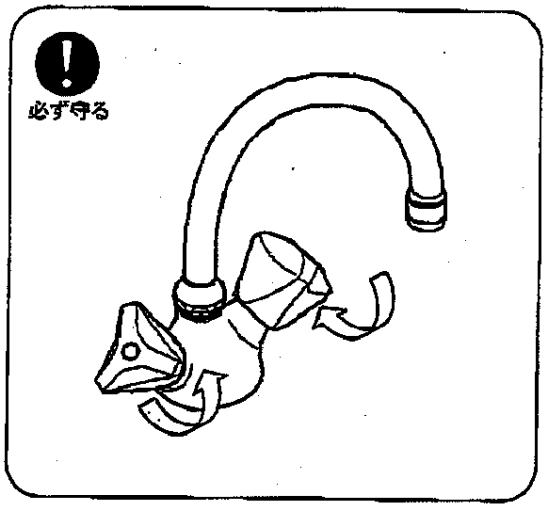
2．水栓の操作

①逆止弁が取り外してあるか確認してください。

②屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。

③水栓の開閉ハンドルを湯水共開栓してください。

※水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。
※水抜けが悪い場合は、吐水口の整流器を外してください。
※冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。
※水抜き操作後は必ず水栓のハンドルを開栓してください。

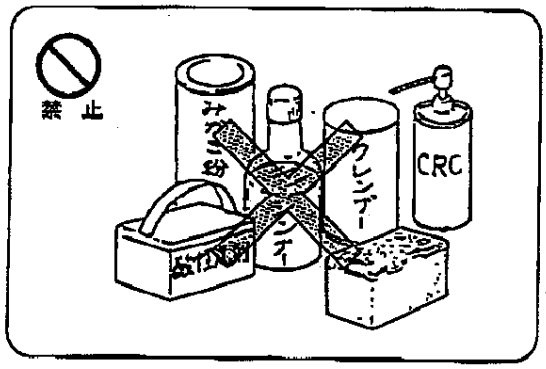


お手入れの方法

◆汚れた場合は

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 表面が汚れたら、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。そのあと水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
- お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩素系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロンタワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分に洗い流してください。

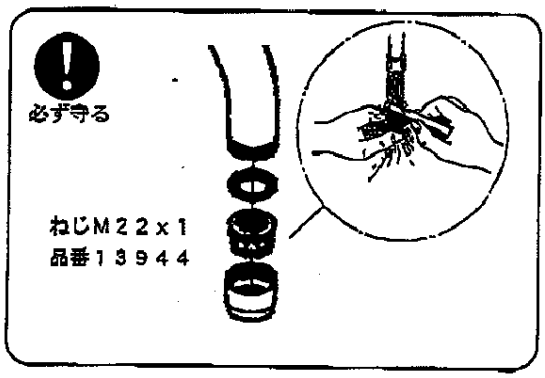


◆整流器の清掃

整流器のゴミ詰りは機能を低下させます。ときどき次の要領で清掃してください。

① レバーハンドルを止水状態にしてください。
② 整流器のキャップを手でゆるめてください。
③ 整流器のゴミを取り除いてください。

※新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。



故障かな？と思ったら　(修理を依頼される前に)

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミが口金にたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1)吐水口先端の整流器にゴミ詰りがないか確認してください。 ※上記、「整流器の清掃」をご参照ください。 (2)ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください
● 適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミがヘッドパーツにたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力（勢い）が強過ぎる。	(1)販売店、取付工事店に連絡してヘッドパーツを洗浄、または交換する。 (2)給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 ※ご使用温度＋１０℃以上にしてください。 (3)湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. 湯側ハンドルをいっぱいに吐出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側ハンドルをいっぱいに吐出し、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または 1.5 倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
● 水の量が多すぎて使いずらい ● 使用時に高い音がする	⑥水の圧力（勢い）が強過ぎる。	上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
● 完全に止水できない	⑦内部ヘッドパーツにゴミが付着、または破損している。	販売店、取付工事店に連絡してヘッドパーツを洗浄、または交換する。
● 吐水口回転部より水が漏れる	⑧吐水口オーリングにゴミが付着、または破損している	販売店、取付工事店または弊社サービス課に連絡してオーリングを洗浄、または交換する。

※上記処置で故障が直らない場合は、販売店、取付工事店または当社サービス課へご相談ください。
※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

保証とアフターサービス　(よくお読みください)

◆アフターサービスについて

アフターサービスについては、お買い上げの販売店・工事店または松下電工修理ご相談センターへお問い合わせください。
保証規定に基づき対応させていただきます。
また、消耗品等部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」へお問い合わせください。

◆補修用性能部材

当社は、商品の補修用性能部品を製造打切り後、最低６年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
一部代替品での供給を行なう場合があります。

◆保証期間経過後の修理について

保証期間経過後は、有料修理になります。
（修理代金：部品代+技術料+出張料）

◆修理をご依頼の際、連絡していただきたい内容

・お名前、おところ、お電話番号
・商品名（本書表紙に記載）、品番
・お引渡し年月日
・不具合箇所、不具合内容（詳しく）

保証書

混合水栓

品　番	SU31SK2S
製造番号	

出　張

保　障　期　間	本体2年間	お　引　き　渡　し	年　　月　　日
★お客様 ご住所	〒□□□-□□□□		
★お客様 お名前	様　TEL（　）		
★販売店 住所 店名	TEL（　）		㊞ または サイン

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障が生じた場合は、本書をご提示の上、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。
★印欄に記載の無い場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。
もし、記入が無い場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

無料修理規定　（保証規定）

1．「取扱説明書」・「本体貼付ラベル」等の注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で2年以内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
　(イ)　無償修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にお申し付けください。
　(ロ)　この商品は、出張修理させていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2．ご転居・ご贈答品等で、本書記載の取扱店に修理をご依頼できない場合、お近くの取扱店または松下電工ご相談窓口にご相談ください。
3．保証期間内でも以下の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。
　(イ) 使用・維持保管上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
　(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
　(ハ) ほこり、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、および火災・地震・水害・落雷・その他の天変地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧など、事故および損傷の原因が商品以外にある場合
　(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷
　(ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷
　(ヘ) 本書の提示がない場合
　(ト) 本書に引渡し年月日・お客様名・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
　(チ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
　(リ) 適切な維持管理を行わなかったことに起因する不具合
　(ヌ) 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する当該品の不具合
　(ル) 塗装の色あせなどの経年変化又は使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の不具合
　(ヲ) 砂やごみなどの配管内流入に起因する不具合
　(ワ) 寒冷地仕様でない場合の凍結に起因する不具合
　(カ) 温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障および損傷
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
5．本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
6．お近くの松下電工ご相談窓口は、「松下電工お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。
※　お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
※　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業所に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの取扱店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

松下電工株式会社　システムキッチン事業部
〒571-8686 大阪府 門真市 門真 1048　TEL 06-6908-1131（大代表）

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店または下記窓口へお申し付けください。

修理のご相談 「修理ご相談センター」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-365（ハイ 365日）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【365日／受付9時～20時】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

大 阪☎06-6906-1090 〒571-8686 大阪府門真市門真1048 松下電工テクノサービス（株）
札 幌☎011-261-6401㊫ 名古屋☎052-551-7900㊫
東 京☎03-5392-7190㊫ 福 岡☎092-622-0531㊫

消耗品・交換部品・オプション部品のご購入 「ハイ・パーツショップ」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-802（ハイ パーツ）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間 月～金9:00～19:00 土・日・祝9:00～17:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

ホームページ http://www.sumu2.com/shop/parts/

○東日本 ハイ・パーツショップ
TEL 03-5392-7189
〒174-0041 東京都板橋区舟渡1丁目12番11号ヘリオスII2階 松下電工テクノサービス（株）東部支社

○西日本 ハイ・パーツショップ
TEL 06-6906-1224
〒571-8686 大阪府門真市門真1048 松下電工テクノサービス（株）近畿支社

使いかた・お買い物などのご相談 「ナショナル パナソニック お客様ご相談センター」

電話フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

【365日／受付9時～20時】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

TEL 06-6907-1187 FAXフリーダイヤル 0120-878-236

ご注意 所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
㊫印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電工株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

販売元

松下電工株式会社 システムキッチン事業部
〒571-8686 大阪府 門真市 門真 1048
TEL 06-6908-1131（大代表）

製造元

グローエジャパン株式会社
〒143-0006 東京都 大田区 平和島 6-1-1 TRC ビル
〒555-0014 大阪府 西区 北堀江 1-5-2 四ツ橋新興産ビル

JPT26300. 2005/NOV/21